

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年7月 日

（報告先）  
横浜市長

住所 東京都千代田区二番町8番地8

氏名 株式会社イトーヨーカ堂  
代表取締役 三枝 富博

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社イトーヨーカ堂 代表取締役 三枝 富博				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都千代田区二番町8番地8				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	56 各種商品小売業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	13,140	kl	自動車の台数	台

## 2 計画期間及び実施年度

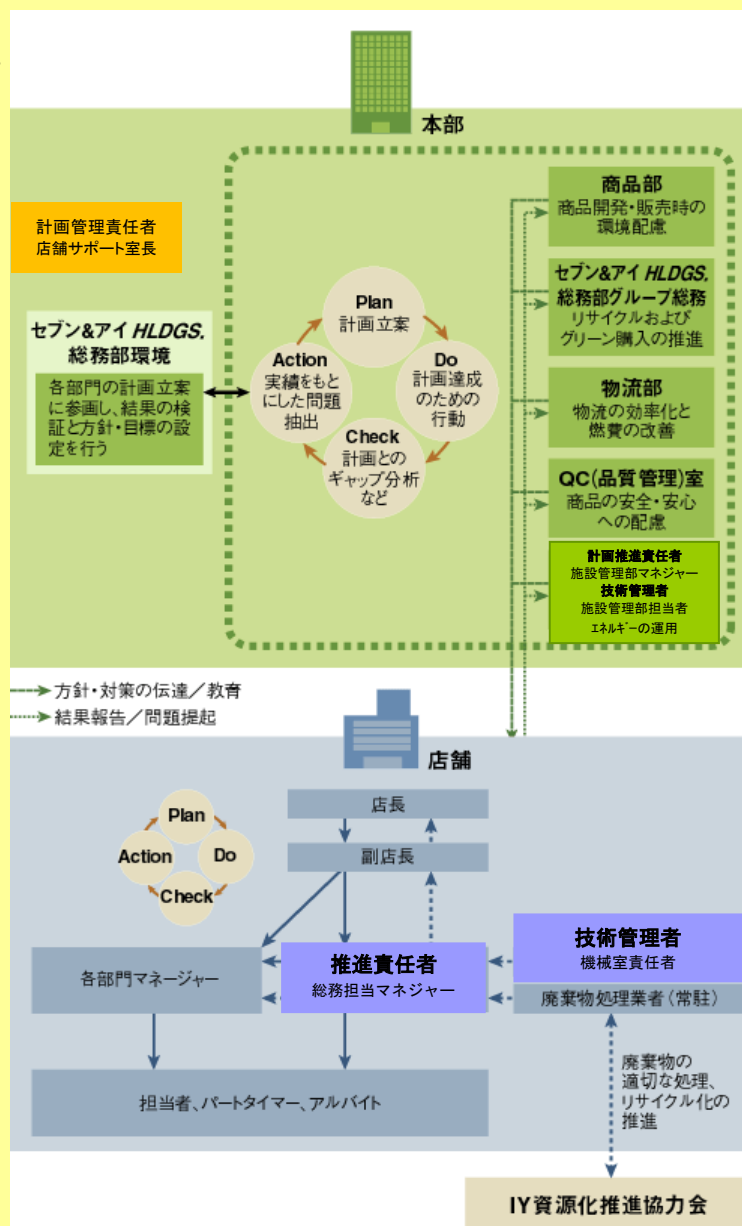
計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>[基本方針]</p> <p>株式会社イトーヨーカ堂は、環境に関連する法規制を遵守し、事業活動が、地球規模の資源問題、温暖化問題に関っていることを深く認識し、商品の開発・生産、配送といったサプライチェーンから、販売、消費までのすべての段階における環境負荷を評価し、CO2排出量を削減するよう努めます。</p> <p>株式会社イトーヨーカ堂は、CO2削減に向けて、以下の取り組みを事業特性に合わせて実施します。</p> <p>①商品の開発・生産によるCO2の削減：商品の容器・包装では、軽くする・薄くするなどの他、環境負荷の低い新素材を導入します。</p> <p>②物流の効率化によるCO2の削減：店舗への商品の配送は繰り返し使える『通い箱』を活用することで資源を有効活用します。</p> <p>③販売にともなうCO2の削減：環境マネジメントを徹底し店舗、事業所でのエネルギー使用を削減します。</p> <p>④社員によるCO2削減：全社員に対して環境教育等を通じた啓発に努め、社員自らがCO2削減を積極的に進めていきます。</p> <p>⑤熱源（冷凍機）、個別エアコン、給湯ボイラー、冷ケース（コンプレッサ、棚照明）、基本照明、スポットライト、エアハンドリングユニットの老朽化更新にあわせた省エネ型への更新</p>
---

4 推進体制

株式会社イトーヨーカ堂は、セブン&アイHLDGS.の総務部環境と連携しながら、グループの方針に基づく環境保全活動計画を策定するとともに、テーマ別に設定した担当部門が各店舗への教育・管理に取り組みながら「目標の設定（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）」というサイクルに沿った環境マネジメントを徹底しています。



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	サービスカウンター内
	所在地	各店舗
	閲覧可能時間	営業時間内に限る
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	30,351	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	58.75	t-CO <sub>2</sub> /㎡・百万h
	調整後	29,879	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	56.98	t-CO <sub>2</sub> /㎡・百万h
目標年度 (2018年度)	目標排出量	27,571	t-CO <sub>2</sub>	削減率	9.2 %	削減率	3.0 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>目標達成年度の営業時間や売場面積、省エネ設備の導入等、営業に直接関連する事項について今後3年間の計画が現時点では不明確な要素が多いため、3年間で年1%の原単位の削減を目標に設定しました。</p> <p>又、食品館本牧店が平成28年7月に閉店するため、目標排出量は12事業所合計目標値です。</p>							
事業者全体としての目標等								
第一年度 (2016年度)	排出量	28,111	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.4 %	排出原単位	55.06	t-CO <sub>2</sub> /㎡・百万h
	調整後	27,433	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.2 %		削減率	6.3 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量総量削減率は7.4%となりましたが、基準年度排出量構成割合6.3を占めていた食品館本牧店が28年7月に閉店したため、既存店ベースでは3%の排出量削減となりました。</p> <p>排出量原単位は排出量に併せて削減となりましたが営業時間減少により6.3%の削減率となりました。</p> <p>第一年度に実施した削減策は、130105空調機へのインバータ制御導入（鶴見店）、150201・150202パックルーム照明に人感センサー付LED照明導入（たまプラーザ店・上永谷店・能見台店・横浜別所店・立場店）</p>							
第二年度 (2017年度)	排出量	25,452	t-CO <sub>2</sub>	削減率	16.1 %	排出原単位	54.79	t-CO <sub>2</sub> /㎡・百万h
	調整後	24,115	t-CO <sub>2</sub>	削減率	19.3 %		削減率	6.7 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量総量削減率は、基準年度比16%となりましたが、主に食品館本牧店及び上大岡店の閉店によるものです。</p> <p>排出量原単位は基準年比6.7%の削減率となり、昨年数値をやや改善しました。</p> <p>第二年度に実施した削減策は、130105空調機へのインバータ制御導入（能見台店）、150201・150202店内基本照明にLED照明器具導入（能見台店・横浜別所店）</p>							
第三年度 (2018年度)	排出量	26,029	t-CO <sub>2</sub>	削減率	14.2 %	排出原単位	55.48	t-CO <sub>2</sub> /㎡・百万h
	調整後	24,160	t-CO <sub>2</sub>	削減率	19.1 %		削減率	5.6 %
目標等の達成状況及び説明	<p>排出量総量削減率は、基準年度比14%となりました。新店（食品館瀬谷店）の通年営業と夏季空調負荷増により計画第二年度より増加しました。</p> <p>排出量原単位は基準年比5.6%の削減率となり、昨年数値より悪化しました。要因として延床あたりのエネルギー消費量の多い食品スーパー（食品館瀬谷店）の通年営業によるものです。</p>							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>排出量総量削減率は、基準年度比14%となり目標を達成しました。要因として店舗閉店2店舗（食品館本牧、上大岡）によるものと、老朽化設備機器の省エネタイプへの更新によるものです。</p> <p>排出量原単位は基準年比5.6%の削減率となり目標を達成しました。総量削減率より少ない削減率となった要因は、延床あたりのエネルギー消費量の多い食品スーパー（食品館瀬谷店）の開店によるものです。</p>							

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k l 以上 3,000k l 未満	2	8,150	2	7,617	2	7,480	2	7,528
500k l 以上 1,500k l 未満	10	21,262	9	19,043	8	16,950	8	16,888
500k l 未満	1	939	2	1,451	3	1,022	3	1,613
合計	13	30,351	13	28,111	13	25,452	13	26,029

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施中	3/13	—	2018年度		2店舗閉店(上大岡・本校)、オーナー提案実施(上永谷)、その他進捗なし。	実施中	3/13	—	2018年度		進捗なし。	実施中	3/13	—	2021年度		進捗なし。
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	6/13	—	2018年度		2店舗閉店(上大岡・本校)、その他進捗なし。	実施中	6/13	—	2018年度		進捗なし。	実施中	6/13	—	2021年度		進捗なし。
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	8/13	—	2018年度		2店舗閉店(上大岡・本校)、その他進捗なし。	実施中	8/13	—	2018年度		進捗なし。	実施中	8/13	—	2021年度		進捗なし。
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	11/11	—	年度			実施済	10/10	—	年度			実施済	10/10	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	/	—	年度	該当設備なし		非該当	/	—	年度	該当設備なし		非該当	/	—	年度	該当設備なし	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施中	9/10	—	2018年度		運用対策を開始(上永谷)	実施中	8/9	—	2018年度		運用対策検証中(上永谷)	実施済	9/9	—	年度		上永谷店が実施済みへ
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	11/11	—	年度			実施済	10/10	—	年度			実施済	10/10	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施中	7/9	—	2018年度		1店舗閉店(上大岡)、その他進捗なし。	実施中	7/8	—	2018年度		進捗なし。	実施済	8/8	—	年度		上永谷店が実施済みへ
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	11/11	—	年度			実施済	10/10	—	年度			実施済	10/10	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	未実施	0/13	—	年度	商品価値を損なう恐れがある為		未実施	0/13	—	年度	商品価値を損なう恐れがある為		未実施	0/13	—	年度	商品価値を損なう恐れがある為	
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度			実施済	13/13	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施中	4/16	(設備の種類)冷温水発生器	年度	計量困難なため		実施中	4/16	(設備の種類)冷温水発生器	年度	計量困難なため		実施中	4/16	(設備の種類)冷温水発生器	年度	計量困難なため	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	8/8	(設備の種類)冷温水発生器	年度			実施済	8/8	(設備の種類)冷温水発生器	年度			実施済	8/8	(設備の種類)冷温水発生器	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし		非該当	/	(設備の種類)	年度	該当設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度		

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.60 %		26,029		220.2		65.0		155					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	150201照明設備の高効率化	横浜別所店	2016	バックルーム照明 ①FLR40W×1灯用 40W 210台 ②FLR40W×2灯用 80W 91台  ※約15時間点灯。	昼間買電	85	千kWh	43.5	①XLX410（人感センサー無91灯、人感センサー有119灯） ②XLX440（人感センサー無89灯、人感センサー有2灯）  ※約15時間点灯。人感センサー有は、約5時間/日、点灯。	昼間買電	23	千kWh	11.8	31.7	5,500 千円
2	150201照明設備の高効率化	能見台店	2017	3階売場基本照明FHF32W×4灯 552台  ※約13時間点灯。	昼間買電	345	千kWh	176.6	NNL4500×2灯（調光タイプ） 552台  ※約13時間点灯。	昼間買電	104	千kWh	53.2	123.4	8,000 千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	太陽光発電設備	2011年度	太陽電池容量(モジュール出力180W*560枚) 100.8kW	特定温室効果ガス削減量：19t-CO2
2	LED照明設備	2016年度	XLX410、XLX440 計301台	特定温室効果ガス削減量：31t-CO2
3	LED照明設備	2017年度	NNL4500 552台	特定温室効果ガス削減量：123t-CO2
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	1,869	東京電力エナジーパートナー（株）
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	
計画期間内に実施する対策	①サプライチェーンにおけるCO2排出量削減への取り組み。 ②限りある資源の有効活用についての取り組み。 ③グループの社会インフラとしての事業特性を活かした環境ビジネスの推進。 ④グループ従業員に対しての環境教育実施及び従業員の環境意識向上。
第一年度実績	①返品削減の取り組み、配送効率化の取り組みを行った。 ②バックの持参、ペットボトルリサイクルを推進した。 ③環境保全・自然共生型栽培米「シリーズ」の販売を行いました。 ④「e c o検定」取得キャンペーンを実施しました。
第二年度実績	①返品削減の取り組み、配送効率化の取り組みを行った。 ②バックの持参、ペットボトルリサイクルを推進した。 ③「持続可能な調達基本方針」に基づき商品開発・販売を行いました。 ④「e c o検定」取得キャンペーンを実施しました。
第三年度実績	①返品削減の取り組み、配送効率化の取り組みを行った。 ②バックの持参、ペットボトルリサイクルを推進した。 ③「持続可能な調達基本方針」に基づき商品開発・販売を行いました。 ④「e c o検定」取得キャンペーンを実施しました。

14 実施状況等に対する自己評価

・セブン&アイグループのプライベートブランド「セブンプレミアム」では、「おいしさ」「品質」「安全・安心」といった価値の追求とともに、環境への配慮も重視して商品の開発を行っています。これまでに、リサイクルPETや間伐材など環境に配慮した容器・包装を、950アイテムで採用しました。引き続き継続拡大を進めます。